

事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年2月20日

自己評価回答時期平成30年10月

アンケート回答者内訳 (常勤職員2名 非常勤職員5名)

社会福祉法人いずみ あゆみの家幼児部

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1	母子参加での人数が多いと狭く感じる ・どちらともいえない**2	
	2	職員の配置数は適切である		5	・屋外活動では人数不足になってしまうことがあり、活動の内容が限られてしまう ・やはり全体を見れる人が1人いると好ましい ・どちらともいえない**2	人員配置基準は満たしているが、屋外活動、一般の公園などにおいては安全配慮の観点から必要な職員の数はある程度は必要、限られている職員数で行うための工夫(前半後半グループ分けなど)をしていきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	1	・4月からの(事業所の)引越して、まだ試行錯誤の状態である ・どちらともいえない**3	日々児童が利用しやすい環境等を目指し、日々の業務の中で見直しを行い取り組んでいます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	1	・日々のメンバーに合わせて工夫しながら活動している、全てにOKという訳ではない ・どちらともいえない**2	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2	3	どちらともいえない**1	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2	3	今後行っていく	今年度より実施しています
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	3	今後行っていく	HPへの公表、今年度より取り組みます
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	4		福祉サービス第三者評価を利用したい希望はありますが費用が高く未実施です。今後自治体等の補助金など費用補助が実現すれば積極的に利用したい
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1		
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	2	どちらともいえない	「客観的な分析」については今後の課題、対応するスタッフの人員数とスキルを上げられる環境がある上での対応となると思います
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	3		標準化したアセスメントツールをスタッフが理解し活用できる、仕組み作りを行っていきます
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	2		家族支援や地域支援についての項目について今後追加するよう検討しています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6		どちらともいえない	今後支援計画がより実効性のあるものへと変える取り組みを行っていきます
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	3		主任職員が中心となり取り組んでおります
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		戸外、製作、運動遊び、リトミック、感触あそび、スヌーズレン、MTなど1ヶ月間に組み込んでいます。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	4	1	・個別活動の決まった時間は無い、集団活動を中心に、昼食の後、自由におもちゃを選んで遊べるようにしている ・どちらともいえない**2	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1	・朝からの出勤の日は打合せで1日の動きを確認し、途中からの勤務の場合はホワイトボードで1日の流れを確認し合っています ・どちらともいえない**2	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	2	・パート職員の勤務時間が異なる為、直接話し合いが難しいが、一覧表に記入することで共有している。 ・その日気付いた単は、お互いに声を掛けあって共有すると同時にカウンターに用意している所定の用紙に記入していつでも確認し合えるようにしています。 ・どちらともいえない**2	左記の取り組みなどをおこない情報共有を行っています
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	2	・個人の連絡ノートに記入されている ・どちらともいえない**1	検証や改善など職員会議時や、朝のミーティング時でおこなっています
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	1		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2	1	どちらともいえない**2	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	2	どちらともいえない**1	東村山市障害児ケア担当者連絡会への参加等を通して情報共有を行っています
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	2	どちらともいえない**1	関係機関との連携は主に保護者を介して行っています。必要に応じて直接連絡を取ることはおこなっています
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		3		医療機関等との連携等は現在、保護者を介して行っています
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	3	どちらともいえない**1	直接的や間接的に移行前後の情報共有はおこなっています
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	1	どちらともいえない**2	就学支援シートの作成を通して情報共有はおこなっています
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	3	どちらともいえない**1	・現在、東京小児療育病院における障害児・地域療育支援事業の活用を検討中 ・東京都福祉人材センターによる講師派遣研修事業を活用した学習会を2回開催致しました(内容:リトミック、あそびに関する講座)
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	6		・今は希望者だけだが、できれば年長さんは全員この様な機会があると良いと思う ・希望者がふじみ保育園で定期的に交流している ・どちらともいえない**1	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	2	どちらともいえない**1	東村山市障害児ケア担当者連絡会や西部エリアネットワークなどに参加しています
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	4		家族支援プログラムのについて、基礎的理解の面から今後取り組んでいきます
保護者	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	2		どちらともいえない**1	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4		どちらともいえない**1	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2	2	・定期的は無いが、保護者からの相談等は会議で皆で話し合い支援を行っている ・どちらともいえない**2	事業所内で対応できる相談内容の他、法人全体の対応能力の活用や、地域を含めた社会資源の活用も視野に入れた支援を今後も行っていきます

ハの説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	1	・保護者会は定期的開催をいっているが、保護者同士の連携がされているかどうかはわからない	ペアレントトレーニングを念頭に、次年度は保護者同士の連携への支援をより進めていきたいと思っております
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	3	2		相談しやすい事業所をめざして、保護者とのよりよい関係作りを行います
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1		年4回程度ある保護者会時にご案内しています
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	1	どちらともいえない*1	施設祭りを通して開かれた事業所を目指します
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	2	2	・マニュアルの作成、周知はされているが、訓練は実施されていない ・どちらともいえない*2	実地訓練を保護者とともに進めたいと思っております。次年度実施予定
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	3		今後も継続的に避難訓練を実施していきます
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		・子ども達の服薬や発作などに関して一人一人十分に説明や確認はしたことがなかったと思っております、知っているお子さん知らないお子さんがいます。 ・どちらともいえない*1	子どもの情報が見やすくわかりやすく確認できるツール作成を検討しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1	・今年度は食物アレルギーの子どもがいない ・どちらともいえない*1	
	45	ヒアリング事例集を作成して事業所内で共有している	4	2	事例集？ヒアリングがあった場合、報告書を書き、回覧している。	都度の報告書以外にも、振り返りとして集計したものを職員会議等で検討していきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1	・アンケートは提出しています。 ・研修等は無いがアンケートや会議での話し合いは行われている。 ・どちらともいえない*1	・法人虐待防止委員会をあげた取り組みとして、不適切な支援について、事業所内での検討など継続的に取り組んでおります。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	1	どちらともいえない*1	・個別支援計画書に記載して説明をおこない、ご理解を頂いております。